

(東京財団政策研究所主催)

都道府県で共創する未来

～ウェルビーイング政策に関する優良事例の共有と連携強化～

群馬県のwell-being（県民幸福度）の 向上の取り組みについて

令和5年10月20日

知事戦略部戦略企画課総合計画・EBPM推進室

① ウェルビーイング政策の意義



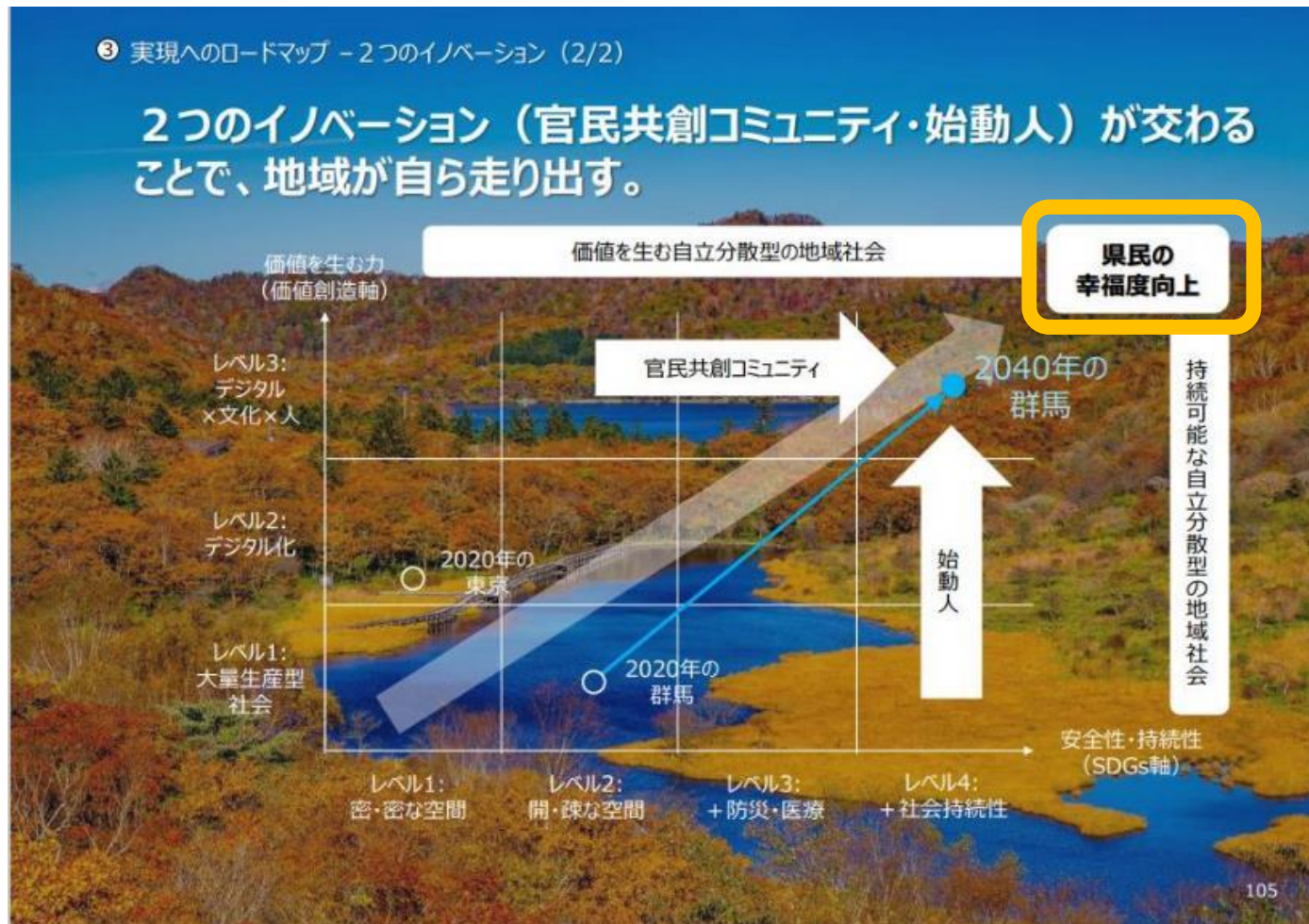
群馬県では、2020年度に策定した、新・総合計画（ビジョン）において、2040年の群馬県の目指す姿を示している。

「年齢や性別、国籍、障害の有無等にかかわらず、すべての県民が、誰一人取り残されることなく、自ら思い描く人生を生き、**幸福を実感できる自立分散型の社会**」

① ウェルビーイング政策の意義

③ 実現へのロードマップ - 2つのイノベーション (2/2)

2つのイノベーション（官民共創コミュニティ・始動人）が交わることで、地域が自ら走り出す。



目指すところは
「県民の幸福度の向上」

① ウェルビーイング政策の意義

② 目指す姿 - 3つの幸福 (1/3)

私たちが目指す幸福度の向上とは？

	20世紀の捉え方	幸福への疑問	目指す「幸福」
	型が定まった「幸福」 <ul style="list-style-type: none">画一的な仕事・暮らし標準的な家族の形	・ 堅調な経済指標のわりに実感のない幸福	多様な「幸福」 <ul style="list-style-type: none">一人ひとり異なる仕事・暮らし良好な人間関係（コミュニティ）
	固定的な「県民」 <ul style="list-style-type: none">県民 = 居住者・出身者	・ 多様化する地域社会の参加者	多様な「県民」 <ul style="list-style-type: none">県民 = +関係者・外国人・新たなマイノリティ
	この時代の「県民」 <ul style="list-style-type: none">いまを切り取った成長・配分の最大化	・ 地域社会や環境の持続可能性への懸念	未来を含めた「県民」 <ul style="list-style-type: none">「ドーナツ経済学」による持続的成長

65

新・総合計画（ビジョン）では、ウェルビーイングにも触れる。

身体的な健康等を指すウェルビーイングのほか、

「私たちのウェルビーイング」
という考え方も重視

3つの幸福が調和した社会

- ・「一人ひとりの**幸福**」
- ・「社会全体の**幸福**」
- ・「将来世代の**幸福**」

① ウェルビーイング政策の意義

県民の幸福度向上

○ 県民幸福度レポート

指標

○ 県民幸福度アンケート

【主観的指標】

- ・主観的幸福感
- ・幸福かどうかを判断するときに重視した事項
- ・「新・群馬県総合計画(基本計画)」に掲げる19の政策分野ごとの施策実感

調査

○既存の統計データの活用による把握【客観的指標】

- ・新・総合計画のロードマップに掲げるKPIやSDGsローカル指標を中心とした、幸福度に関連する統計データ

県民幸福度向上に向けた政策展開の基盤として、以下の内容を実施。

- ① **県民幸福度**の見える化
- ② **県民幸福度**と県施策との関連等の分析
- ③ **幸福度**の変化や施策への活用状況の継続的把握

② 調査(幸福度アンケート)について

調査

実施目的・公表時期

令和3年度
「県民幸福度アンケート」
調査結果報告書

令和5年3月
群馬県

◆ 幸福度の現状を「見える化」するため、県民に対し幸福実感や施策実感に関するアンケート調査を行う。主観的幸福感を指標化する。

- ・主観的幸福実感
- ・幸福かどうかを判断するときに重視した事項
- ・「新・群馬県総合計画(基本計画)」に掲げる19の政策分野ごとの施策実感

◆ 前回公表時期：令和5年3月
※レポートの公表に合わせて公表

② 調査(幸福度アンケート)について

調査

調査概要・内容 (R3実施)

◆ 調査概要

実施時期：令和3年12月7日～12月24日

対象者：県内在住満18歳以上 3,300人(選挙人名簿を用いた層化二段無作為抽出)

調査方法：郵送配布、郵送・WEBアンケートシステムによる無記名回収

有効回収数：1,582件（有効回収率47.9%）

◆ 調査内容

(1) 質問項目：本質問13問（実質問数65問）

ア. 県民の主観的幸福実感についての項目：本質問7問（実質問数20問）

イ. 19政策分野ごとの施策実感についての項目：本質問1問（実質問数40問）

ウ. 特定の施策についての項目：本質問5問

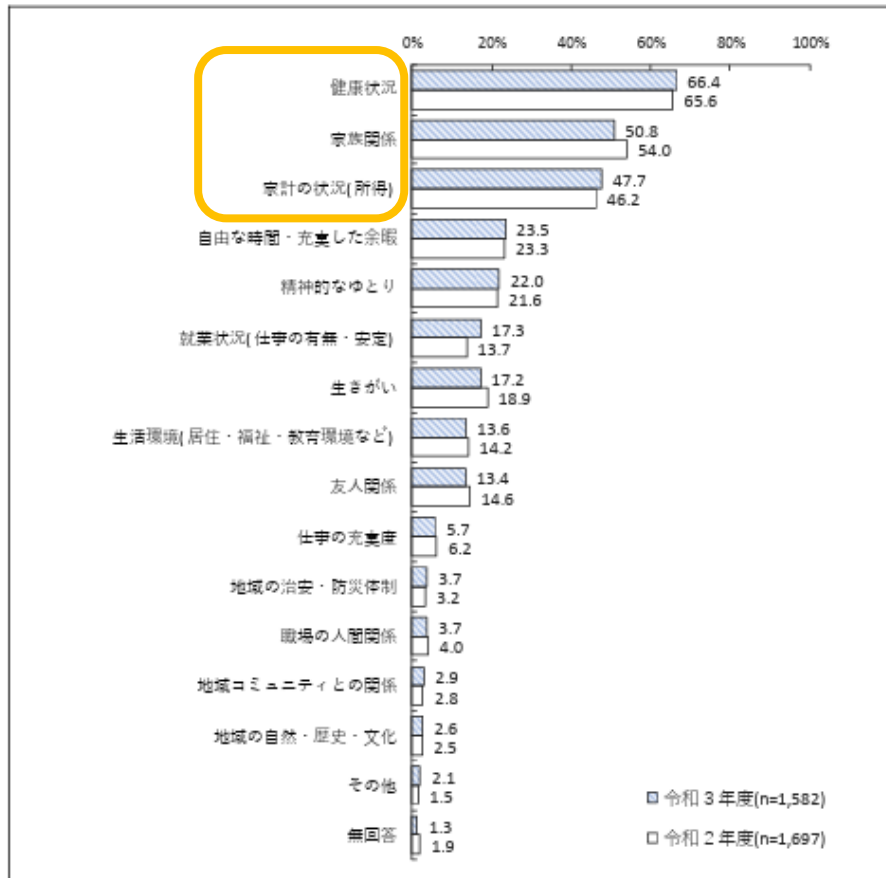
(2) 回答者属性：質問10問

② 調査(幸福度アンケート)について

調査

分析：幸せを判断する際の重視事項（R3実施）

Q 現在のあなたが、「幸せ」かどうかを判断する際に重視した事項は何ですか。次の1～15の中から、特に重視したものを3つ選び、番号に○をつけてください。(○は3つ)



1位 「健康状況」

2位 「家族関係」

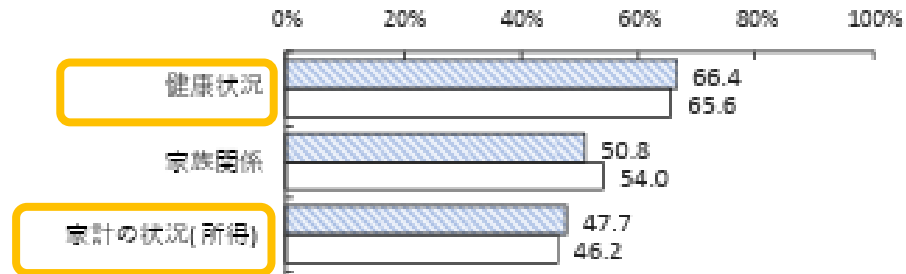
3位 「家計の状況（所得）」

② 調査(幸福度アンケート)について

調査

分析：幸せを判断する際の重視事項（R3実施）

Q 現在のあなたが、「幸せ」かどうかを判断する際に重視した事項は何ですか。次の1～15の中から、特に重視したものを3つ選び、番号に○をつけてください。（○は3つ）



1位「健康状況」、
3位「家計の状況（所得）」



重点的に対策等を
検討している状況

③ 指標(幸福度レポート)について

指標

実施目的・公表時期



- ◆ 群馬県が目指す社会の幸福を県民に対し伝えるとともに、**幸福度の見える化による県民幸福度の現状や県の施策について広く伝える。**
- ◆ 前回公表時期：令和5年3月
※R3に実施したアンケートをベースに分析した内容。

③ 指標(幸福度レポート)について

指標

レポートの構成

目次

第1部	第2部	第3部
群馬県が目指す幸福度の向上 1.1 群馬県が目指す3つの幸福 「新・群馬県総合計画（ビジョン）」で描く群馬県が目指す幸福について説明します。 . . . P.5 1.2 幸福度向上に向けた主な取組 群馬県が実施している幸福度向上の取組を「3つの幸福」の視点から紹介します。 . . . P.7 1.3 「新・群馬県総合計画」の評価検証 「新・群馬県総合計画」の評価検証の概要を報告します。 . . . P.11 コラム 大切なものは、目に見えない —「非主物多様性」から健康と幸福を考える— . . . P.13	県民幸福度の現状と分析 2.1 幸福度指標化の考え方 群馬県における幸福度の指標化の考え方を説明します。 . . . P.15 2.2 主観的幸福感 「県民幸福度アンケート」結果から把握する幸福実感などの現状と分析結果を報告します。 . . . P.17 2.3 19の政策分野ごとの分析 県が重点的に取り組む19の政策分野別に、施策実感（主観的指標）及び統計データ等（客観的指標）による現状分析の結果や今後の取組方向を報告します。 . . . P.35	データ編 第2部で使用した「客観的指標」に加え、参考となる指標を一覧で掲載します。 . . . P.76 

第1部：群馬県が目指す幸福度の向上

第2部：県民幸福度向上の現状と分析

- ◆ 県民幸福度アンケート調査結果から把握する主観的幸福実感
- ◆ 19の施策分野別の施策実感について、主観的指標と統計データで把握する客観的指標による現状分析・今後の取組方針

第3部：データ編

③ 指標(幸福度レポート)について

幸福度指標の体系



主観的幸福感の分析

主観的指標

19の政策分野ごとの分析

客観的指標

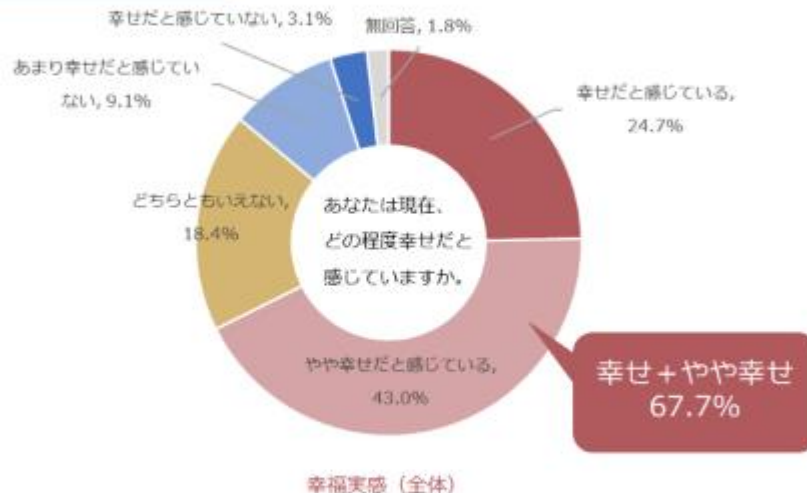
③ 指標(幸福度レポート)について

分析：主観的幸福感

2.2 主観的幸福感

1. 幸福実感

全体



◆ 幸せ + やや幸せの回答割合は67.7%

→ 分かりやすい指標ではあるが、レポートでは、主観的幸福感のみでなく、客観的な指標での視点も加えて総合的に分析 (レポートの作成目的の一つ)

「あなたは現在、どの程度幸せだと感じていますか。」という設問に対し、「幸せだと感じている」と「やや幸せだと感じている」の回答を合わせた『幸せだと感じている』の回答割合は**67.7%**でした。一方、「幸せだと感じていない」と「あまり幸せだと感じていない」の回答を合わせた『幸せだと感じていない』の回答割合は12.2%でした。

③ 指標(幸福度レポート)について

指標

分析：19の政策分野ごとの分析

2.3 19の政策分野ごとの分析

群馬県では、「新・群馬県総合計画（基本計画）」において2030年度までの重点施策を19の政策分野に分け、体系化しました。本節では、それぞれの分野について、県民幸福度アンケートにより把握する施策実感（主観的指標）及び各種統計データ等で把握する客観的指標から現状分析を行うとともに、今後の取組の方向性を示します。

1. 19の政策分野と施策実感一覧

分野	政策分野ごとの施策実感に関する設問	施策実感	
		R2年度	R3年度
1 地域政策	移住者を受け入れる土壌があると感じますか	56.3	56.2
	近隣住民同士が困ったときには助け合える地域環境があると感じますか	56.9	55.9
2 スポーツ	運動やスポーツに取り組むことができる環境が整っていると感じますか	58.7	57.0
	運動やスポーツを観戦する機会が充実していると感じますか	48.3	48.8
3 文化	群馬の歴史文化に誇りを感じますか	62.4	63.3
	芸術を鑑賞したり、文化活動に参加できる場が整っていると感じますか	53.0	52.6
4 こども	安心して子どもを産み育てられる環境が整っていると感じますか	56.1	55.7
	子育てをしながら働き続けられる環境が整っていると感じますか	43.3	49.3
5 生活	性別や年齢、障害の有無、国籍などにとられず、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できていると感じますか	46.5	46.9
	ボランティアや市民活動に取り組みやすい社会であると感じますか	48.9	49.6
	消費者としての安心・安全が図られていると感じますか	60.9	59.4
6 健康	健診や生活習慣病対策など健康的な生活を送るための相談や指導を受けられる環境が整っていると感じますか	57.8	58.9
	自主的な健康づくりを進めるための支援が充実していると感じますか	50.2	51.3
7 医療	必要な医療サービス（在宅医療なども含む）を受けられる体制が整っていると感じますか	53.2	53.4
	救急医療体制が整っていると感じますか	57.0	57.5
8 福祉	介護や支援が必要になっても、住み慣れた地域で安心して生活できる環境があると感じますか	52.3	52.4
	悩みや不安、つらい気持ちを抱えた人がいつでも相談できる環境が整っていると感じますか	42.8	41.9

分野	政策分野ごとの施策実感に関する設問	施策実感	
		R2年度	R3年度
9 環境	地球温暖化防止のため再生可能エネルギー（太陽光発電や水力発電など）の普及や活用されていると感じますか	46.3	44.2
	ふだんの暮らしの中で食品ロスや資源ごみ削減のための行動（期限が近い商品の購入など）が定着していると感じますか	43.3	43.2
10 森林・林業	公共施設や住宅などに県産材等の木材が使われていると感じますか	41.5	40.9
	群馬県では、森林の管理や利用が適切にされていると感じますか	42.8	44.3
11 農業	群馬県では、農林水産業の担い手の確保・育成が十分に行われていると感じますか	40.4	40.9
	群馬県産の農林水産物がブランドとして評価され、県内外に販路が拡大していると感じますか	53.0	50.9
12 産業経済	群馬県内の企業や職場では、働きやすい職場環境が整備されていると感じますか	44.4	44.8
	群馬県には、十分な収入を得ることができる仕事があると感じますか	40.7	41.5
13 観光・コンダング	群馬県では、魅力ある観光地づくりが進んでいると感じますか	49.8	49.6
	群馬県には、海外からの観光客にとって魅力的だと感じられる観光地があると感じますか	57.2	58.1
14 農土整備	鉄道・バスなどの公共交通機関が利用しやすいと感じますか	28.7	30.2
	自動車、自転車、徒歩等により、安全で快適な移動ができる道路空間が整備されていると感じますか	45.1	44.8
15 防災・危機管理	地震、豪雨、暴風、火山噴火などの自然災害への防災・減災対策や火災への防火対策が確立されていると感じますか	56.1	55.9
	災害時に必要な情報提供を受けられる体制が整っていると感じますか	52.9	53.5
16 教育	子どもたちが自分の将来を考えた上で、率先して行動できる力を身につけられる教育がされていると感じますか	46.3	45.6
	教育の充実を図るためにデジタルの活用を進める取組がされていると感じますか	45.8	51.2
17 防犯・交通安全・食生活衛生	治安がよく安心して生活できると感じますか	66.7	66.1
	交通事故が少なく安全に生活できると感じますか	51.7	51.3
18 国際	群馬県では、安心・安全な食品・農産物が提供されていると感じますか	66.9	66.4
	外国人と日本人が国籍・民族・文化の違いを理解し、認め合って暮らすことができていると感じますか	49.1	49.2
19 行政改革	群馬県の文化、産業、観光などの魅力が広く世界に発信され、認められていると感じますか	45.2	45.5
	行政手続きがデジタル化され、利便性が高まっていると感じますか	42.3	44.4
	群馬県では、新たな価値やビジネスを創出するために、行政と民間が連携・協力する体制が整っていると感じますか	40.8	42.1

↑ 上昇：令和2年度と比較し、令和3年度アンケートでの施策実感が有意に上昇
 ↓ 下降：令和2年度と比較し、令和3年度アンケートでの施策実感が有意に下降
 ※ 施策実感の算出方法や上昇・下降の定義は、次ページ参照。

◆ 19の政策分野ごとに分析

R3幸福度アンケートで、有意に上昇・下降した項目を強調

③ 指標(幸福度レポート)について

指標

分析：各分野ごとの分析 (1 / 2 枚目)



- ◆ 各設問ごとに
 - ・ 性別
 - ・ 年代別
 - ・ 地域別 等の属性分析を実施

③ 指標(幸福度レポート)について

指標

分析：各分野ごとの分析 (2 / 2 枚目)

3. 客観的指標の動向

凡例 一人：一人ひとりの幸福、社会：社会全体の幸福、将来：将来世代の幸福

指標名	3つの幸福	KPI該当	単位	直近の値	前年度レポート掲載値	(参考)		順位
						直近全国平均値	全国平均値	
健康寿命	一人	○	男性 女性 年	更新なし	73.41 75.80 (R1年度)	72.68 75.38 (R1年度)	6位 17位	
喫煙率	一人	-	%	更新なし	19.7 (R1年)	18.3 (R1年)	37位	
BMIの平均値(男女別)	一人	-	男性 女性 Kg/ m ²	更新なし	24.1 23.0 (H28年)	23.8 22.6 (H28年)	15位 10位	
人口1人あたりの国民医療費	社会	-	千円	329.1 (R1年度)	322.7 (H30年度)	351.8 (R1年度)	12位	
後期高齢者1人あたりの医療費	社会	-	円	868,799 (R1年度)	862,667 (H30年度)	954,369 (R1年度)	16位	
平均寿命	一人	-	男性 女性 年	81.13 87.18 (R2年)	80.61 86.84 (H27年)	81.49 87.60 (R2年)	33位 40位	
平均歩数	一人	-	男性 女性 歩/ 日	更新なし	6,964 6,430 (H28年)	7,779 6,776 (H28年)	37位 30位	
健康診査受診率	社会	-	%	更新なし	54.9 (R1年度)	55.3 (R1年度)	21位	

4. 分析

- 主観的指標である「健診や生活習慣病対策など健康的な生活を送るための相談や指導を受けられる環境が整っていると感じますか(①)」及び「自主的な健康づくりを促すための支援が充実していると感じますか(②)」の設問の施策実施度は、前年度から横ばいでした。ただし、属性別分析において、設問①の施策実施で30代と40代で『感じる』と回答した割合が大幅に上昇し(それぞれ+9.9ポイント、+7.5ポイント)、設問②では20代以下と40代で『感じる』と回答した割合が大幅に上昇した(それぞれ+10.0ポイント、+6.3ポイント)ことから、40代への施策の効果は比較的高いことが推測されます。
- 客観的指標のうちこの設問と関わりが深いと考えられる「BMIの平均値」「平均歩数」「喫煙率」等では、全国と比較し、本県は順位が低くなっています。これらのことから、まだ健康づくりに関心が向かない若い世代からの働きかけや、働き盛り世代への取組を特に強化する必要があることがうかがえます。
- 客観的指標のうち、医療費等は全国平均より低くなっていることから、医療サービスの効率的な提供が図られていると考えられますが、今後の少子高齢化の進展を見据え、引き続き生活習慣病予防や介護予防などの医療費適正化につながる取組を進める必要があります。

5. 今後の取組方向

- 活力ある健康長寿社会の実現を目指し、EBPM(合理的根拠に基づく政策立案)の推進を基本方針とし、政策ビジョン「群馬モデル」に基づき、県民、市町村、関係団体、関係機関、大学等と協力しながら、更に健康寿命延伸対策に取り組みます。
- 生涯を通じた健康づくりを強化し、県民の主体的な取組を進めるとともに、フレイルの概念を踏まえた健康づくりを社会全体で展開します。
- 働き盛り世代の健康無(低)関心層も含めたすべての県民が自然に健康になれるよう、「G-WALK+」を活用するなど健康づくりのための環境づくりを推進します。
- 医療保険制度の安定的な財政運営を確保していくため、医療費の適正化に向けた取組を推進します。

- ◆ 関係部局と一緒に、分析を実施
- ◆ 今後の取組方向も、合わせて検討

48

16

④ 今後の課題と展望

- (1) 幸福度アンケートの項目とWell-being指標との連携
- (2) 県庁内でデータ分析・施策反映できる環境づくり
- (3) 幸福度アンケート・レポート等の見直し

④ 今後の課題と展望

(1) 幸福度アンケートの項目とWell-being指標との連携



Smart City
Institute Japan

法人概要

エグゼクティブ
アドバイザー

会員一覧

イベント・報告

入会案内
問い合わせ

地域幸福度 (Well-Being) 指標 (Liveable Well-Being City指標®)

ダッシュボード

データダウンロード

アンケート 設問票

🔗 お問合せはこちら



地域幸福度 (Well-Being) 指標とは

利活用ガイドブック

ダッシュボード

データダウンロード

出典

: 一般社団法人スマートシティ・インスティテュート HP
<https://www.sci-japan.or.jp/LWCI/index.html>

④ 今後の課題と展望

(2) 県庁内でデータ分析・施策反映できる環境づくり



※Share point上に展開する
庁内向けコミュニティサイト

④ 今後の課題と展望

(3) 幸福度アンケート・レポート等の見直し

